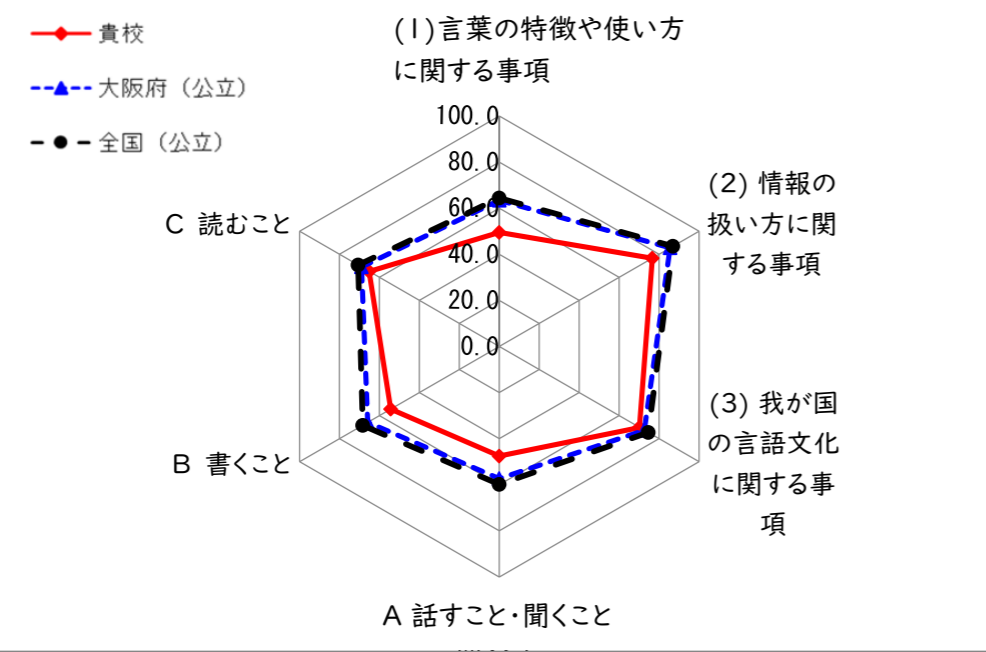
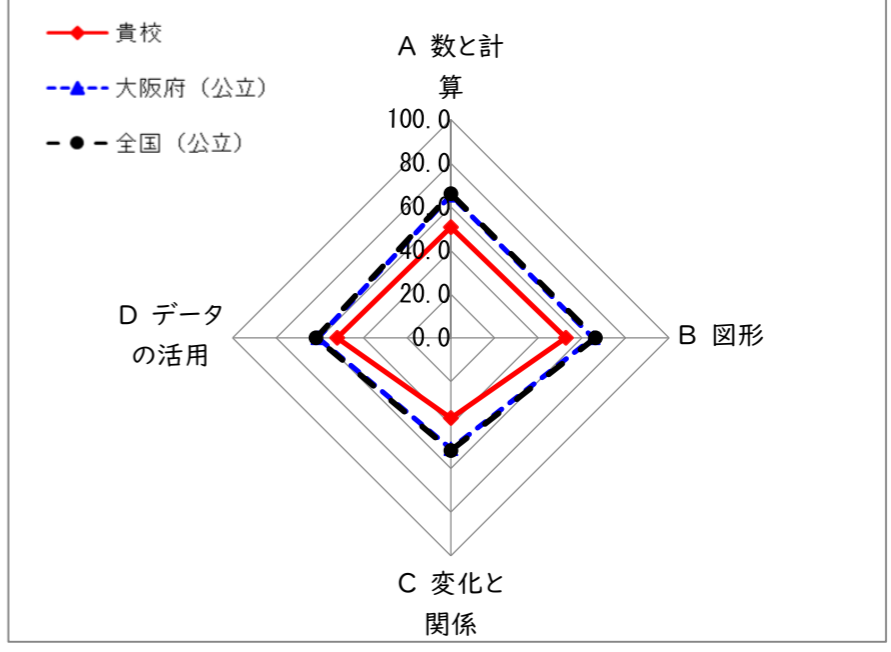


調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【国語】	【算数】
 <p>全体的な状況 国語科の6領域については府・全国平均を下回る結果となりました。特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」についての誤答率が高かったです。</p> <p>成果 物語文の読解では、描写を基にし、登場人物の関係や心情などについて考えることができおり、正答率も全国平均を上回っています。物語の感想を登場人物の視点から書く活動を取り入れている成果だと考えられます。</p> <p>課題 他の問題と比較し「話すこと・聞くこと」「書くこと」についての正答率の低さや無回答率の多さが見られました。また、たくさんの情報の中から必要な情報を選び、活用することについても課題が挙げられます。</p> <p>課題解決に向けた取組み ただ文章を読むだけでなく、必要に応じて文章に線を引いたり、メモをしたり、図にしてまとめたりすることで、情報処理能力を高めていきます。シンキングツールの活用もICT機器を利用して図っていきます。</p>	 <p>全体的な状況 算数科の4領域については府・全国平均を下回る結果となりました。その中では、特に「数と計算」「変化と関係」の領域について、府・全国平均とより隔たりがありました。</p> <p>成果 「図形」において、作成途中の直方体の見取図についての問題では、正答率が大阪府平均より高い結果となりました。見取図の学習の中で、具体物として方眼紙で直方体を作り、それを活用した成果だと考えられます。</p> <p>課題 除法(わり算)について、整数÷小数の商(答え)の大小関係を予測する問題に課題が見られました。計算の性質を活用する問題では、その求め方を式や言葉で表して解答することを苦手としているようでした。</p> <p>課題解決に向けた取組み 答えの大小関係を理解させるために、「なぜそうなるのか」を考えられるような学習を展開していきます。また、計算における数量関係を線分図や□の式を用いて立式できるように系統立てた指導をめざします。</p>

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国
先生は、あなたのよいところを認めてくれている	98	91	90
学校に行くのは楽しい	94	83	85
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人に相談でき	83	72	67

全体的な状況

「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」「学校に行くのは楽しい」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人に相談できる」という項目などで府・全国の平均を上回っています。

成果

本校の教育目標「明るく 楽しく 元気よく」を意識した、学校全体での教育活動や取組みの成果が表れているのと感じています。子どもたちと教職員との信頼関係づくりも調査結果として表れていると考えられます。今後も子どもの思いに寄り添い、子どもたちにとって安心・安全な学校づくりに励んでいきます。

課題を残した主な項目	本校	府	全国
毎日同じくらいの時間に寝ている	81	83	83
普段(平日)、1日あたりテレビゲームをしている時間が1時間以上	77	76	74

課題

「毎日同じくらいの時間に寝ている」という項目で、府・全国平均を下回りました。また、「普段、1日あたりテレビゲームをしている時間が1時間以上」の割合が府・全国平均を上回りました。

課題解決に向けた取組み

今年度の学習状況調査において、上記2項目以外は府・全国平均を上回る結果となりました。その分、課題を残した2項目については、規則正しい生活習慣について学ぶ機会を設け、睡眠やゲーム依存、スマホ依存について子どもたちの理解を深め、今後の改善につなげていきます。

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

子どもたちが生き生きと活動して学校生活を送ることができるように、子どもたちを「どのような場面で輝かせることができるか」「子ども同士をどのようにつなげていくか」を、学校全体で考え、実践しています。今年度の全国学力・学習状況調査での、国語、算数、学習状況調査アンケートの結果から、子どもたちの成果と課題の把握ができました。この結果を受け、本校教育活動のさらなる伸長と改善に全教職員で取り組んでいきます。学校教育の主役は子どもたちです。子どもたちがこれからの社会を生きぬいていくためにどのような力が求められ、それをどのように付けていくかについて日々考察し、子どもの実になる教育実践を行っていきます。子どもたち同士がつながる「集団づくり」にも引き続いて力を注ぎ、子どもたちにとって居場所となる学校づくりに全力を尽くしていきます。保護者の皆さま方、今後とも本校教育活動へのご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。